

かていで てんけんする れいてき じょうたい

1 ペテロ 2章9節

しかし、あなたがたは、選ばれた種族、王である祭司、聖なる国民、神の所有とされた民です。それは、あなたがたを、やみの中から、ご自分の驚くべき光の中に招いてくださった方のすばらしいみわざを、あなたがたが宣べ伝えるためなのです。

最も重要な教育現場は、家庭です。毎日聞くパパやママのことばが、ときには小言のように聞こえるでしょうが、私たちに必要な教育です。立派な人の大部分は、このようなパパやママの教育を確かに受け取りました。それゆえ、初代教会は、だれも妨げることができない家庭を中心に福音の人を見つけて育てました。

初代教会のような家庭になろうとするならば、まず霊的状态を点検する3つのことに挑戦しなければなりません。1つ目、私の刻印、根、体質を変えるみことばの流れ、答えの流れを見る深い対話フォーラムの時間を持ちましょう。2つ目、タラントを見つける成人式、専門性を見つける使命感、世の中を生かす派遣式を実際にそなえましょう。3つ目、祈りを学ばなければなりません。定刻祈りでサミットの時間を、常時祈りで生活の中で福音を味わって、集中祈りで私と他の人をいやす力を受けます。

このように、家庭で受けた教えに従順にすれば、友だちと、行く現場を生かす、神様が尊く用いてくださる人に成長するでしょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、私を神様にご覧になるときに、いちばん立派な霊的状态になるように、家庭で点検させてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



いろをぬろう

家族といっしょに、今週のみことばをフォーラムして、それぞれのフォーラムを、下のふきだしに書いたあと、色をぬりましょう。



きょうのでんどう

あひと 会う人

じゅんび 準備する資料

まことの ちからを もっている もの

1列王
18章 3~4節

アハブは王宮をつかさどるオバデヤを呼び寄せた。——オバデヤは非常に主を恐れていた。イゼベルが主の預言者たちを殺したとき、オバデヤは百人の預言者を救い出し、五十人ずつほら穴の中にかくまい、パンと水で彼らを養った。

神様に用いられる人はどんなことをしても、どんな場所においても、神様の願いに従って決断して動きます。預言者エリヤの時代に生きていた重職者オバデヤが、そのような人でした。

彼は、悪い王妃イゼベルの命令のゆえに預言者が殺されていたとき、彼らを隠して保護しました。もしかしたら自分が殺されるかもしれないのにです。

そのようにできたのは、神様をおそれる信仰と、王も信頼するほどの実力があつたためです。預言者エリヤが、疲れて死を求めるときの危機にあつた時にも、神様はオバデヤを用いられました。神様は彼を通して100人の預言者を立てられ、七千弟子を隠しておいたとエリヤに言われました。また、後継者エリシャのような、霊的祝福を求める弟子が立つために隠れた霊的影響を与えました。

この時間、オバデヤのように神様をおそれながら、実力をそなえた弟子になることを祈りましょう。神様をおそれるときに受けるまことの力で礼拝をささげ、勉強して、友だちを生かすようになるでしょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ひとりの霊的な力が神様のみこころを成しとげる霊的な力になって、多くの弟子を立てる機会になりました。私も神様の願いを成しとげる弟子となるように、導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



さんびしょう

10 いつも感謝

作詞/作曲: ノ・スンヒ

Lightly ♩ = 130

D D#dim7 Em

ちっ ちゃ なハ ート が トク トク トク ちっ ちゃ なお め め

D/A A7 D D#dim7

き ら き ら - イ エ ス が キ リ ス ト だ か ら

Em A7 D

い つ も か ん しゃ



きょうのでんどう

あ ひと
会う人

じゅんび しりょう
準備する資料

わたしを いかす じかんを もちましょう

D D#dim7 Em
ラ ラ ララ -ラ ララ ララ ラ ララ ララ
4 D/A A7 D D#dim7
ラ ララ ラー イエ ス がキ リス トだ から
7 Em A7 D
い つ も か ん しや



きょうの でんどう

あ ひと
会 う 人

じゅんび しりょう
準備する資料

使徒
1章 8節

しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。

私たちは、多くの人にとって、多くの文化に接し、たくさんの方のことを考えながら、一日を過ごしています。気分が良くなる出会い、力が湧いてくる文化、正しい考えだけならば問題ないかもしれませんが、しかし、神様を離れた人々の出会いとことば、文化と考えは、サタンの攻撃を受けるようになっていきます。(ヨハネ 8:44) 時代が変わって、科学と医学は発展したのですが、いやすことができない病気はさらに多くなり、ますます苦しむようになりました。そのなかでも、とくに精神問題は日々増えています。そのために、神様を信じない宗教団体とニューエイジ団体が瞑想を通して誤ったいやしの働きをしています。それゆえ、さらに多くの方が混乱に陥るようになりました。

レムナントは、今日から私を生かす時間を持たなければなりません。イエス様がこの地に来られて、罪、のろい、地獄の背景とサタンに勝たれたキリストだという事実をこの時間に信じて味わいながら、力を受ける必要があります。そうすれば、世の中に属することなく、神様とともにいていやすされる祝福を味わうことができます。レムナントのヨセフは、私を生かす力でエジプトのパロ王に答えを与えました。レムナントのわたしも、やはり、私を生かす力があるならば、すべての現場と、どんな出会いの中でも、ヨセフのように答えを与える証人になるでしょう。

きょうのみことば

きょうのいのり

神様、伝道者として呼んでくださって、ありがとうございます。福音の中にあるいやしの力を味わうことができますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

アブラハムの しんこう てんけん わたしの しんこう てんけん

創世記 22章 1~2節

これらの出来事の後、神はアブラハムを試練に合わせられた。神は彼に、「アブラハムよ」と呼びかけられると、彼は、「はい。ここにあります」と答えた。神は仰せられた。「あなたの子、あなたの愛しているひとり子イサクを連れて、モリヤの地に行きなさい。そしてわたしがあなたに示す一つの山の上で、全焼のいけにえとしてイサクをわたしにささげなさい。」

世の中が強く見えていたアブラハムの信仰を、神様は点検するようにされました。世の中が強く見える錯覚のためにずっと不安だったからです。アブラハムは、自分のアイデンティティが、祝福の根源（契約的祝福、根源的祝福、代表的祝福、不可抗力的祝福、記念碑的祝福）を持っている神の子でもあるということを知っていました。しかし、あまりにも弱い表の自分の姿を見るたびに、錯覚に陥っていました。そのため「私は何もできない」と思っていたのです。結果的には、神様が生きておられるということのをがしていました。

神様はアブラハムが錯覚を捨てられるように、3つのテストをされました。1つ目、カルデアのウルを離れなさいと言われました。不信仰と、だめな条件を離れなさいということです。2つ目、イサクを通して約束を成し遂げると言われました。困難の中で神様の契約を握りなさいと言われたのです。3つ目、あなたの愛するひとり子イサクをささげなさいと言われました。そして、神様はイサクが死ぬべきときに、やぶに角をひっかけていた雄羊を準備されました。（アドナイ・イルエ）死ななければならない私たちのために、キリストをくださったようにです。神様がアブラハムに与えられた祝福を、私たちにも与えてくださいました。錯覚の前で、3つのテストによって、私の信仰を点検しましょう。そのとき、完全な神様が、私を祝福の根源として呼んでくださったことも忘れないようにしましょう。

きょうのみことば

きょうのいのり

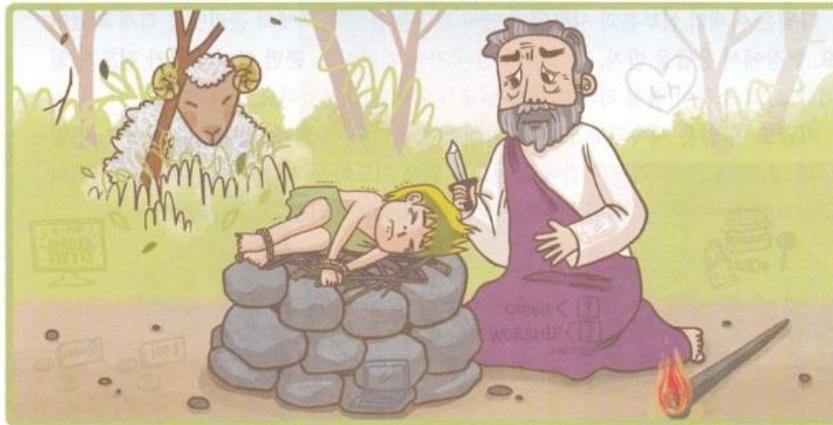
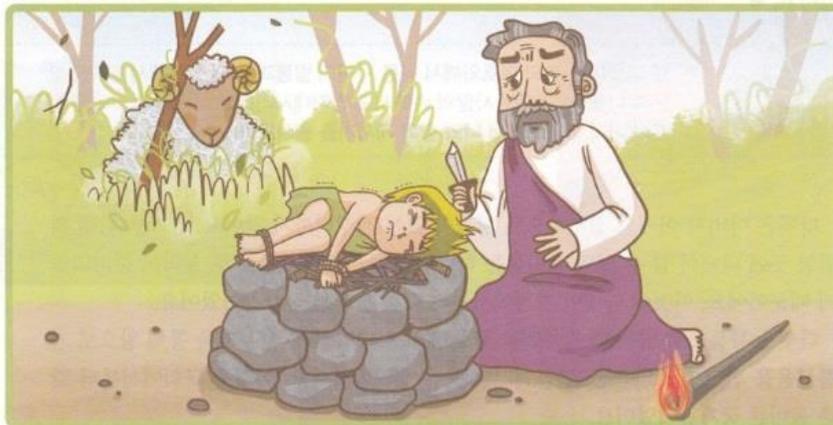
神様、この世と霧困気を見て、神様がいないと考えてしまう錯覚から出てくるように、神様がくださったみことばを書きとめて、私の信仰を点検することができますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

インマヌエル聖日1部 | 2017.12.3



ちがいを
みつけよう

2つの絵のちがいを、私の偶像を見つけて、捨てて、アブラハムがイサクをささげたように、完全に私を神様にささげるレムナントになりましょう。全部で7つあります。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料



せんきょうしの しんこうこくはく

I サムエル 17章 37節

ついで、ダビデは言った。「獅子や、熊の爪から私を救い出してください。主は、あのペリシテ人の手からも私を救い出してください。」サウルはダビデに言った。「行きなさい。主があなたとともにおられるように。」

ダビデは、父であるエッサイのお手伝いとして、兄たちがいる戦場へ行きました。国のために危険な所へダビデが行けた理由は、神様がくださった霊的な力、知恵、実力が準備されていたからです。これが、ダビデが家庭でそろえた正しい国家観でした。

ダビデは羊飼いであったとき、サムエルに会いました。神様のしもべサムエルを通して、王として油を注がれて、ミツバ運動、契約の箱の内容を伝えられました。これが、教会でそろえた正しい国家観でした。

ダビデは、エッサイのお手伝いと、サムエルの契約伝達を通して、ペリシテのゴリヤテを倒しました。現場で答えを受けて、そのうわさがすべての国に広がりました。それだけでなく、国家伝道がなされ、そのうわさがだんだん広がって、世界宣教がなされるようになりました。

今でもこの働きは続いています。ダビデのように私たちもこの働きに参加できます。毎日、私の定刻祈り、常時祈りの時間に伝道と宣教のために祈りましょう。今日から、この時代の宣教に参加して、正しい国家観をそろえたレムナントになるように、いっしょに祈りましょう。



きょうのみことば



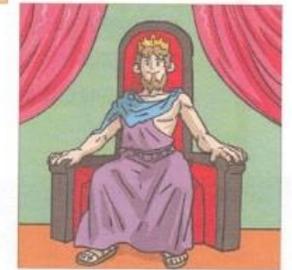
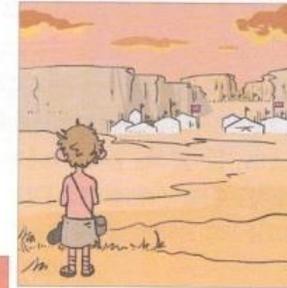
きょうのいのり

神様、私を宣教師として呼んでくださってありがとうございます。正しい国家観を持って、伝道と宣教のために休まずに祈ることができますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



みことばを てきようしよう

ダビデの信仰の旅程に従っていきましょう。
正しい順序に絵をならべて、ともだちに説明しましょう。



きょうのでんどう

あひと 会う人

じゅんび 準備する資料

Grid area for writing the evangelism story.

Grid area for writing preparation materials.